



よこはま



HP : <http://www.mod.go.jp/rdb/s-kanto/>



影富士(富士山八合目より)

◇目次◇

- 1 深山局長着任挨拶
- 2 新幹部の紹介・中級研修の思い出
- 3 業務紹介(企画部周辺環境整備課)
- 4 「平成21年度富士総合火力演習」一般公開
- 5 第11回防衛問題セミナー開催
- 6 日米横須賀基地の一般開放
- 7 関係自治体だより

編集企画:南関東防衛局 広報紙「よこはま」編集委員会
発行:南関東防衛局 総務部報道室 Tel. 045-211-7129
〒231-0003 横浜市中区北仲通5-57 横浜第二合同庁舎

深山局長着任挨拶

只今、ご紹介に預かりました深山です。本日付で南関東防衛局長を拝命いたしました。

南関東局の管轄県は3県と承知してありますが、本土で最大の米軍所在の局でもあり、かつ多くの施設、横須賀海軍施設あるいは厚木飛行場、また池子米軍住宅地区などいろいろな課題を抱えています。それだけに日本の防衛に果たす使命は非常に大きいものと認識しております。

局長として非常に重い任務に就いたと自覚しているところであります。私は、防衛省に入省して27年目になりますが、地方局に勤務するは今回が初めてです。

いろいろな防衛省の行政に携わってきましたが、実際に地方で問題を解決する立場になって、非常に身が引き締まる思いをしているところです。この任務を果たして行くためには、ここにいらっしゃる局の皆さんの助けが無くては出来ません。是非、皆さんの協力を得て、問題の解決に一つ一つ結びつけていきたいと思っております。

着任に際しまして、私が日頃から思っていることをいくつか申し上げたいと思っております。

まず第一に、このような仕事をしていくためには、みんなでよく情報を持つこと、共有することが大事だと思っております。前局長もその点では非常に心をくだかれていたと聞いております。私も皆さんからの情報提供をおおいに歓迎しますので、口頭でも電話でも何でもいいので、是非情報を入れていただきたいと思っております。TPOというものがあろうかと思っております。より正確な情報をメールで送った方がいい場合もあるかと思っておりますし、電話で10秒で第一報した方がいいこともあるでしょう。とにかく行って私の反応を見てということであれば部屋に来ていただければいいですし、皆さんにお任せしますので情報共有を大切にさせていただきたいと思っております。

私がこれまで主に内局で課長職をしてきて部下に言っていたことを申し上げておきたいと思っております。私は役人というのは「お人好し」「お節介」「心配性」であれ、ということをやってきました。

どういうことかということ、例えば、「お人好し」。隣の人と自分は担当分野が違うということで、余計なことに口出しをすると嫌がられるだけだ、自分の仕事が増えたら馬鹿馬鹿しい、ということで口出しやアドバイスをしない。私も実はそういうふうにも思ったこともありますけど、それではうまくいきません。是非、他のところにも口を出して、みんなで助け合って行かなくてはいけないと思っております。

お節介。隣の人がちゃんと仕事をやっているのに、上司が仕事をやっているのに、余計なことを言うのは失礼だということを思いがちです。でも是非お節介をしていただきたい。本当にそれでいいのですか、本当にこの情報を知っているんですかと言ってほしいと思っております。特に私のような立場からすると、局長だから分かっているだろうといわれても、実は一部分しか情報が届いていない時がある。皆さんの中でもあると思っております。それでいいのかと是非お節介をやっていただきたいと思っております。

最後に心配性と言いましたが、私が若い頃から上司というのは偉いからいろんなことをたくさん知ってやっているだろうと、一度言ったことは忘れていないだろうと思ってきましたが、実はそうではないことがたくさんあります。得てして人間は忘れることもある。そういう点でお互いに、私に対しても心配性になってほしい。本当に自分の言ったことを覚えているのか、そういうことで確認していただきたいと思っております。

もう一言付け加えますと、何か自分の正面で問題が起きた時は「騒いで」頂きたいと思っております。自分一人で抱え込む必要はないので、是非、問題があつてこれは大問題と思ったら、「大変だ」、「大変だ」と言って欲しいと思っております。

最後に、合理的に働きましょう、ということをお願いいたします。仕事は一生懸命やっていますが、合理的に働いて自分の生活を大事にする、休暇も合理的にとる、その上で仕事をやっていただきたいと思っております。

本日着任いたしまして明日から皆さんのやっている仕事について詳しく説明を受け臨みたいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

以上をもちまして、私の挨拶とさせていただきます。

(平成21年8月10日)



みやまのぶあき

8月10日 着任挨拶する深山延暁 局長
平20. 1. 17 防衛省大臣官房秘書課長
平21. 8. 10 現職

新幹部の紹介

調達部長 竹中正二郎（昭和30年生）

平20. 8. 1 九州防衛局企画部長
平21. 8. 1 現職



8月1日付けで調達部長になりました竹中です。

横浜での勤務は3度目になります。平成5年は旧庁舎から現在の合同庁舎への引っ越しに遭遇しました。また、2年前、建設調整官の時は横須賀市からしゅんせつ工事の港湾協議に応じる文書を受け取ることができ、その時の嬉しさが甦ってきます。

前職で九州防衛局の企画部を経験できましたので、部を超えて対応しなければならない事案の多い当局で、他の部とどのようにコラボできるか楽しみです。

建設工事の実施及び装備品の検査という調達部の業務は、一人一人がコツコツと作業を積み上げてゆくしかない性格の業務ですので、部内の風通しが良く、動きやすい職場環境作りができればと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

中級研修の思い出（平成21年度（第87回））

企画部地方調整課 大和屋ひと美

約5週間に及ぶ中級研修では、部内外の講師による講義、部隊体験訓練、グループ研究・発表等があり、活発に参加することが求められ、気が抜けない緊張の毎日でした。日頃から日本を取り巻く安全保障環境を意識し、ある程度の知識も備えていれば、もっと気持ちに余裕を持って対応できたのではないかと反省します。防衛省職員でありながら、いかに自分は日本の防衛や軍事についての洞察力や危機感に欠けていたかと思い知らされました。今回の研修で修得した知識や



スキルを今後の業務で活用すると同時に、講義に感化されたことをモチベーションにして今度は自ら分析・考察し、防衛行政に携わる上での自分の考えをしっかりと構築していきたいです。

また、一緒に参加した研修生の方々は皆優秀で、大変刺激になりました。部隊体験訓練やグループ作業は互いの協力なくしては乗り越えられませんでしたし、この体験を共に出来たことを光栄に思います。

総務部会計課 吉野祐也

7月3日から8月7日までの約1ヶ月間、平成21年度（第87回）中級研修を受講しました。研修の内容は、防衛省業務に関する座学、部隊体験訓練、部外有識者による講話、グループ研究及び現地研修等の幅広いもので、今まで安全保障について意識が低かったのが、改めて防衛省職員としての自覚、業務に対する姿勢を再認識するいい機会になりました。グループディスカッションを行う講義が多く、活発な討議をする中で研修生同士の交流を深めることができました。また、部隊体験訓練や現地研修では、部隊の概況説明、施設の見学、装備品の展示、訓練の見学及び体験訓練等の貴重な体験させて頂き、少しでも部隊の現状を理解できたのではないかと思います。

今回の研修で学んだ知識や経験を活かして今後の業務に励んでいきたいと思っています。



業務紹介（企画部周辺環境整備課）

厚木航空基地周辺まちづくり支援事業

綾瀬市及び大和市は、平成17年度から厚木航空基地周辺の広大な面積の周辺財産（航空機騒音による移転跡地）を活用して、市民ニーズの高いスポーツ・レクリエーション施設の整備を実施しています。

この事業は、当省の補助事業である防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条「民生安定助成事業」に基づき、「まちづくり」のための支援として防衛施設の存在を活かし、スポーツ・レクリエーションのみならず、災害時の避難場所として整備するものであります。さらに地域住民等のふれあいの場として自然・文化交流施設を設置するとともに、基地関係者と地域住民との交流を促進し、多様なスポーツ及び文化等の交流・体験学習等ができる拠点施設として助成しています。

本事業は、綾瀬市及び大和市がそれぞれ計画したのですが、厚木航空基地南側の綾瀬市及び大和市両市域に所在する周辺財産を利用するものであります。また、事業の目的が類似していることから、同一地域に同様の施設が計画される可能性が高くなるため、両市は本事業を実施するにあたり、平成15年度に「実施協定書」を締結したところであります。同協定に基づき「まちづくり構想策定事業合同委員会」を組織し、相互に連携を図り、整備区域全体を一体化し、可能な限り施設の集約等を図ることにより、効率的な施設計画を行い、整備費等の低減を図っています。

綾瀬市域においては、スポーツ施設を主体として、軟・硬式野球場を各1面、芝生グラウンド（主にサッカー）2面、ソフトボール場1面、テニスコート6面、自然・産業・文化交流施設等を計画しています。本年10月には軟式野球場及び芝生グラウンド1面の利用が可能となります。

大和市域は、スポーツ・レクリエーション施設を主体として、芝生グラウンド（少年サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボール）、修景池ゾーン（緩やかな斜面の芝生と中心部のせせらぎ）、わんぱく広場、多目的スポーツ広場等を計画し、さらに、従前から広域避難場所になっていたことから、非常用トイレ、貯水タンクを設置し、避難所としての機能も充実させています。

現在、芝生グラウンドと修景池ゾーンが完成し、利用が可能となっています。本年度以降も順次整備を進め、施設全体の完成は、平成26年度を予定しており、個々の施設の完成後は、広く市民へ開放され利用されることとなります。

当局としても前述のとおり、厚木航空基地の設置・運用により周辺地域の住民の皆様方が被っている影響を防止・軽減・緩和を図るための施策を推進してまいりる考えであり、今後とも、周辺住民の皆様方の民生安定に寄与する施設の整備に努めてまいります。



まちづくり支援事業全体計画平面図(厚木基地南側)



綾瀬市サッカー場



大和市修景池ゾーン

「平成21年度富士総合火力演習」一般公開

陸上自衛隊の「平成21年度富士総合火力演習」が、8月30日（日）東富士演習場において一般公開され、約2万6千人の見学者で賑わいました。

本演習は一般公開される陸上自衛隊の演習の中で最も人気があり、戦車や装甲車などのほか、火砲、対戦車ヘリコプター、航空機などを使用した最大規模の実弾射撃演習です。

昭和36年陸上自衛隊富士学校の学生が現在戦における火力戦闘の様相を学ぶのを目的として始まり、その後、国民の自衛隊に対する理解を深めてもらうため、昭和41年からは一般公開され今日に至っています。

演習は午前10時10分から開始され、富士教導団、特科教導隊、戦車教導隊、第一ヘリコプター団、第一空挺団、航空自衛隊などの隊員約2400人、戦車・装甲車約80両、各種火砲約40門、航空機約25機などが参加して実施されました。

敵陣地の制圧などの実演が披露され、隊列を組んだ90式戦車や74式戦車が遠く離れた場所にある目標を次々と砲撃すると、もの凄い轟音とともに着弾地から炎が上がりました。また、空挺隊員によるパラシュート降下や、対戦車ヘリコプターから20ミリ機関砲や対戦車誘導弾が発射され標的に命中すると、見学者から大きな拍手が送られました。今日の演習では自衛隊員の日頃の訓練の成果がおおいに実感できました。

演習終了後には、各装備品の展示も行われ、来場者は戦車や対戦車ヘリなどをバックに記念写真を撮る姿が多く見られ、自衛隊への理解がより深まったものと感じました。



第11回防衛問題セミナー開催

テーマ:北朝鮮とミサイル防衛

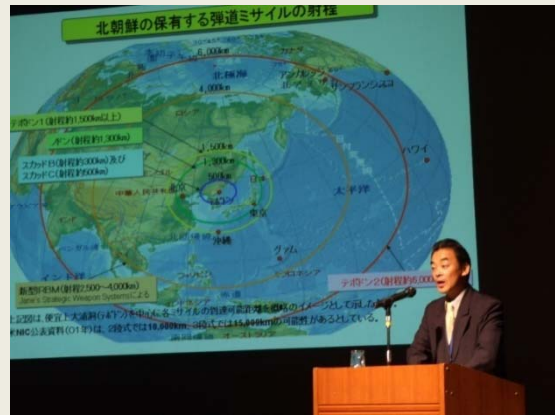
場 所:横浜市中区「関内ホール」

開催日:平成21年7月29日(水)

講 師:武貞秀士防衛研究所統括研究官、三貝 哲防衛政策課弾道ミサイル防衛室長



講演中の武貞防衛研究所統括研究官



講演中の三貝防衛政策課弾道ミサイル防衛室長

7月29日(水)、横浜市中区の関内ホールにおいて、「北朝鮮とミサイル防衛」をテーマとして、第11回防衛問題セミナーを開催しました。今回は、防衛研究所の武貞秀士統括研究官、防衛政策局防衛政策課室の三貝 哲弾道ミサイル防衛室長を講師に迎えて行われました。

最近の北朝鮮情勢や弾道ミサイル防衛について広く国民に知ってもらおうのが目的であり、250人を越える市民らが参加しました。

セミナーでは南関東防衛局長の挨拶に続いて、三貝室長から「弾道ミサイル防衛について」の説明があり、また、武貞研究官から「北朝鮮の動向と北東アジア情勢」の説明がありました。

講演では、北朝鮮の核の脅威、弾道ミサイルの脅威など、現在の緊迫しているこれら情勢を研究者の意見を交えながらの説明と弾道ミサイルからどのように日本を防衛するかについて、分かりやすい説明がありました。

セミナーに参加した市民らは、講師の説明等に聞き入り、「報道だけでは知り得ない貴重な講演であった。」「ミサイル防衛の重要性が理解できた。」といった感想をいただきました。

以上がセミナーの開催状況ですが、当局としては今回の状況が盛況であったこと等を踏まえ、今後とも同セミナーの企画に当たりましては、市民の皆様方が関心を持っていただけるようなテーマ等にするなど、さらなる防衛政策等のご理解が得られるよう努める必要があるとあらためて痛感した次第です。

なお、次回の防衛問題セミナーは、平成21年10月20日(火)、静岡県浜松市において「北朝鮮と我が国の安全保障～『北からの脅威』と空の衛り人～」をテーマに開催の予定ですので具体的になり次第、当局ホームページに掲載します。



会場:関内ホール(横浜市中区)



質問に答える講師

日米横須賀基地の一般開放

8月1日、猛暑のなか海上自衛隊横須賀地方総監部と在日米海軍横須賀基地の両施設が一般開放され、報道によると約6万人の人たちが訪れたとのこと。

横須賀地方総監部では、「ヨコスカ・サマーフェスタ2009」が開催され、新しい南極観測船「しらせ」をはじめ、護衛艦「おおなみ」と「むらさめ」、加えて米海軍のイーゼス艦「カーチス・ウィルバー」が「しらせ」に横付けされ公開されました。

さらに、海上自衛隊横須賀音楽隊の演奏、手旗教室、ラップ教室、航空自衛隊の地対空誘導弾パトリオットの展示、水中処分艇による港内見学や訓練展示も行われるなど盛りだくさんの内容でした。

その様な中で役目を終えた旧しらせ（非公開）が、棧橋の奥にひっそりと係留されている姿が印象的でした。

また、当日は猛暑にもかかわらず大勢の人出があり、暑さのためか施設内の飲物自動販売機が軒並み「売り切れ」の表示になるなどの状況もありましたが、暑さも何のその子供たちは護衛艦に興味津々、目を輝かせて見学したり、学校とは違った教室に参加するなど元気な姿が見られました。

施設間の移動には、シャトルボート等を利用する人もいれば、ヴェルニー公園から国道16号沿いに歩いて移動する人も多く、横須賀の街がいつもに増して活気に満ちている様でした。

一方、米海軍横須賀基地では、「ネイビーフレンドシップデイ2009」が開催され、三笠ゲートから入門し「フードコート」で美味しい食べ物や飲み物を楽しんだり、基地近くで開催される「よこすか開国祭の花火大会」を基地内の公園から見るため大勢の人で賑わいました。

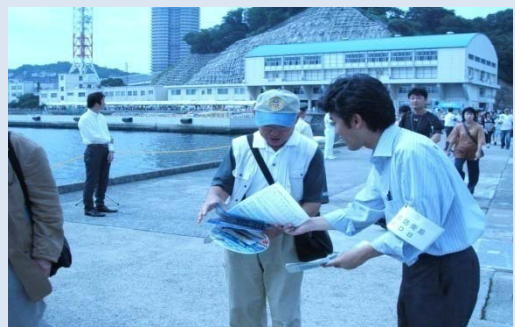
屋外では、にわかコックさんたちが、まるでこん棒の様な骨付き肉やステーキを焼いたり、本場のバーガーや飲み物で迎え、訪れた人たちは目移りしながらも、あれこれ食べている様子は、基地開放ならではの光景でした。当日、日米両施設を訪れた人たちは、暑さにも負けず有意義な一日を過ごしたと思います。

また、南関東防衛局では、多くの方々に自衛隊の活動を理解して頂くため、基地の一般開放に訪れた市民らへ、「ソマリア沖・アデン湾における海賊対処と自衛隊」の防衛政策広報のパンフレットを配布（500部）しました。

今後もこのような機会を捉え、防衛政策の広報活動を実施していきます。



海自基地開放に訪れた人々



海賊対処パンフレット配布する職員



米軍屋外バーベキュー



展示車両見学に並んだ家族の手には海賊対処パンフレットが

関係自治体だより

裾野市は静岡県の東部、北に霊峰富士、東には箱根外輪山、西には愛鷹連山を望み、文字どおりその裾野に開けたまちです。人口は54,455人（平成21年8月1日現在）、面積は138.39km²。気候は温暖で、交通の便もよく、豊かな自然と産業が調和したまちです。

昭和30年代後半から始まった積極的な企業誘致政策が功を奏し、自動車関連企業等の進出により、富士山麓の小さな農林業中心の街から、工業都市へ大きな変貌を遂げました。

今年度には、裾野市が分譲主体である「新富士裾野工業団地」が造成を完了し、4区画すべてに企業の進出が決定し、すでにその内の2つの企業は操業を開始する運びとなりました。

平成7年には「健康文化都市」を宣言し、誰もが健康で、人と自然のふれあいを大切にして、安全で安心して暮らせる街、豊かな裾野の文化を作り続けることを目標としています。

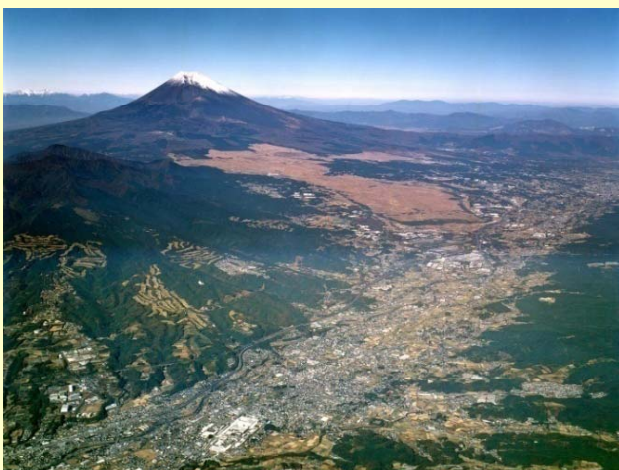
平成13年には民生安定施設である多目的温泉利用施設「ヘルシーパーク裾野」がオープンし、その温泉は全国でも数少ない温泉の効能が大きい「高張性温泉」で、その濃度も高く美人の湯とも称され、掛け流しの100%天然温泉として評判を呼び、市内はもとより市外県外より多くのお客様にご来館いただき、今年7月には来館者200万人を達成しました。

市北部には裾野市、御殿場市、小山町の2市1町にまたがる約8,800haの規模を持つ本州で最大の東富士演習場が所在しております。その内裾野市域の演習場は959haで演習場全体の1割強となっております。国内でも重要な演習拠点であり連日砲撃、爆破、ヘリコプターの発着等の演習が行われています。これら演習に伴う騒音に対する市民からの苦情は近年増える傾向になっており、今後の国の対策を期待するところであります。

本年度は東富士演習場第九次使用協定終結の年ということもあり、南関東防衛局には地権者並びに自治体からの課題事項を整理していただき、安全対策に関する事項に対しては、万全を尽くすと共に、要望に対しては最大限のご尽力を期待するところであります。

今後とも東富士演習場が安全、安心かつ安定的に使用されますよう、これまでと同様のきめ細かな取り組みを期待しております。

(裾野市企画部渉外室)



上空から裾野市を望む



ヘルシーパーク裾野